

月刊「省エネルギー」11月号

省エネルギー・脱炭素機器システム・サービスガイド 特集
広告出稿お申込み書

広告主様(ご出稿企業様会社名)

広告会社様(代理店様経由の場合)

部署名

ご担当者

ご住所

TEL - - FAX - -

E-mail

製品名等名称

広告の色数(○印でご記入ください) 1色 2色

広告料金 150,000円(消費税別)

お申込み日 月 日

FAX(03-3212-6155)

またはスキャンしてE-mail(koukoku@shoene-magazine.com)

お問い合わせ先

月刊省エネルギー 広告総代理

一般社団法人日本電気協会新聞部 月刊「省エネルギー」編集チーム

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館3階 電気新聞メディア事業局内

電話: 03-3211-4560 (月刊省エネルギー編集チーム専用) FAX: 03-3212-6155

e-mail: koukoku@shoene-magazine.com

カーボンニュートラルやGXに貢献する省エネソリューションが一堂に!

月刊「省エネルギー」2026年11月号巻末特集

省エネルギー・脱炭素 機器システム・ サービスガイド



広告募集案内

発行: 一般財団法人省エネルギーセンター

編集/広告: 一般社団法人日本電気協会新聞部(電気新聞)

注目の
最新機器・サービスをご紹介します

2026

省エネルギー・脱炭素 機器システム・ サービスガイド

本企画は、カーボンニュートラルやGX実現に向けて、省エネ・脱炭素に役立つ機器、システム、サービスに焦点を当て、解説記事と純広告をセットで掲載する、月刊「省エネルギー」のタイアップ広告特集です。

新製品、ロングセラー、ヒットシリーズのほか、高効率製品やデジタル技術を活用したシステムなど、優れた省エネ・脱炭素機器・サービスなどを紹介する場としてご活用いただいています。

掲載料金が通常の半額となるこの機会に、ぜひ貴社の機器、システム、サービスの広告掲載をご検討ください。

掲載料金とお申込み方法

通常見開き2ページ30万円(記事レイアウト費含む)

15万円(税抜)の特別価格です。

お申込み締切日・ご入稿締切日をご確認の上
広告出稿お申込書をご記入いただき、
FAXまたはE-mailでお送りください。

お申込み締切日

(令和8年)
2026年 **9月7日(月)**

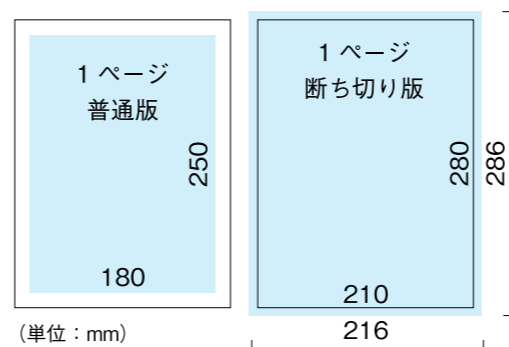
ご入稿締切日

(令和8年)
2026年 **9月25日(金)**

校了日：**10月9日(金)**

広告原稿制作上のご注意

広告原稿サイズ



- 雑誌仕上がり寸法は、天地 280mm × 左右 210mm の A4 変形です。
- 各広告スペースの寸法は左記をご覧ください。
- 断ち切り版の広告原稿では、マーク、社名、コピー、資料請求券などは、仕上がりよりさらに 5mm 内側に入れてください。
- 原稿には、規格どおりのセンタートンボ、コーナートンボを正確に必ず入れてください。
- 掲載広告の内容および主題に起因する当センターに対する名誉毀損の請求または訴訟、プライバシーの侵害、著作権の侵害およびその他の訴訟に関し、当センターは一切その責任を負いません。
- イラストレーターにてご入稿ください。ドキュメントのカラーモードは CMYK にしてください。
- 文字は全てアウトライン化し、画像等のリンクは全て埋め込みしてください。
- 画像を使用する場合、解像度は原寸に対して 300dpi 以上にしてください。
- 出力見本を1部添付してください。
- 本誌は、体裁・内容等につき不適当と思われる広告の掲載をお断りします。

2025 省エネルギー・脱炭素 機器システム・ サービスガイド

株式会社ティエルビ | ドレンとフラッシュ蒸気の熱回収による省エネ

ドレン・ユゲ回収ユニット 「HeatSaver® 型式 CS1000」 オープン回収方式でも熱・水資源を全回収

●概要

蒸気はボイラーで発生し、配管を通り、熱交換器など蒸気の利用設備に送気されます。配管の放熱や利用設備での伝熱により蒸気は元の水(高温水)に戻ります。この水をドレンと呼びます。このドレンも十分な熱量を持つため、回収・再利用することによりボイラー燃料の低減や、水・熱資源の再利用が実現できます。

ドレン回収は既に多くの工場で採用されていますが、大気開放の回収先にドレンを直接回収する「オープンドレン回収システム」においてはドレンの一部が再蒸発し、湯気となって大気へ放出されるので、その分の熱は有効利用ができませんでした。

ドレン・ユゲ回収ユニット「HeatSaver® (ヒートセイバー) 型式 CS1000」は、これらの課題を解決し、蒸気のドレンだけでなく、ドレンから発生する再蒸発蒸気(フラッシュ蒸気)の熱も回収します。回収し再利用することで、エネルギーロスを削減し、ボイラー燃料の低減を実現します。またフラッシュ蒸気による湯気を解消し、工場の作業環境を改善します。

●特長

- ・ドレンと湯気(ドレンから発生するフラッシュ蒸気)を同時に回収し、再利用
- ・蒸気使用装置にほとんど背圧をかけない大気開放型の構造
- ・設置面積は約 0.6m² とコンパクト設計で、全ての機能が筐体の中に収められたオールインパッケージ構造のため、設置ならびに配管工事が簡単
- ・液晶パネルにエネルギー回収量や省エネメリットなどを表示

●用途

- ・蒸気使用装置から排出される高温ドレンの圧送およびフラッシュ蒸気の熱回収による省エネルギー、作業環境の改善に
想定される蒸気使用装置の例：
二重釜、クーラー、乾燥機、温水製造装置、空調設備など



写真-1 ドレン・ユゲ回収ユニット「HeatSaver® 型式 CS1000」

●省エネメリット

ドレン圧力が高ければ高いほど、フラッシュ蒸気の発生量が多くなるため、回収メリットも大きくなります。ドレン回収量が 300kg/h の場合、各圧力帯における熱回収メリットを、参考値として図-1 に示します。計算条件としては、熱量単価：2,000 円 / MJ、稼働時間：24 時間 / 日、稼働日数：330 日 / 年、安全率 0.8 (放熱による熱ロスなども考慮) にて算出しています。なお、ドレンを回収した際には、水資源の回収メリットも付随しますが、水単価は変動しやすいため、熱のみの回収メリットとして記載しています。

実際に導入する前に、ドレンの熱、蒸気の熱、水回収の金額的メリットなどの試算依頼を弊社ウェブサイトでご受け付けていますので、ぜひご利用ください。

ドレン圧力 (MPaG)	ドレン量 (kg/h)	フラッシュ蒸気量 (kg/h)	回収メリット (円/年)
0.1	300	11.5	1,601,000
0.2		19.0	1,816,000
0.3		24.8	1,981,000
0.4		29.5	2,115,000
0.5		33.5	2,230,000
0.6		37.0	2,330,000
0.7		40.2	2,421,000
0.8		43.1	2,504,000
0.9		45.7	2,578,000
1.0		48.2	2,650,000

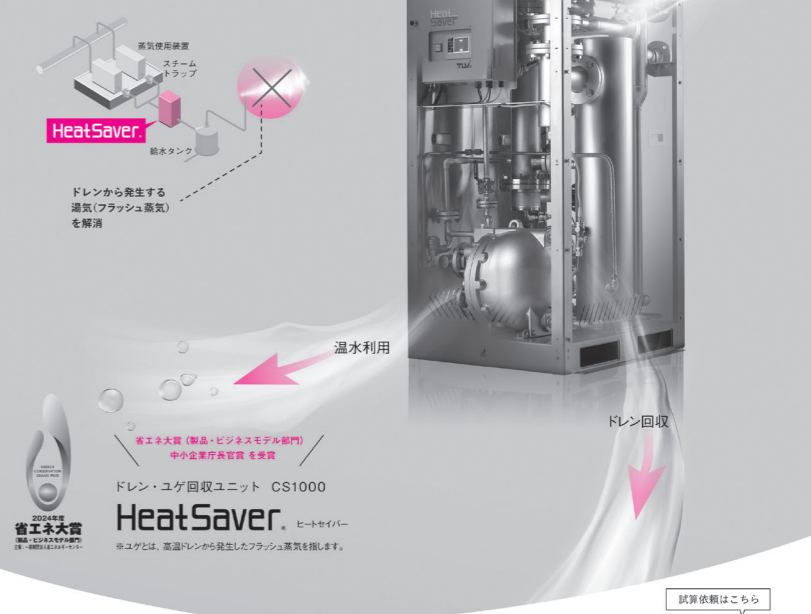
図-1 熱回収メリットの参考値

蒸気の省エネ、環境対策に

ドレンと湯気を回収

(フラッシュ蒸気)

オープン回収方式でも
熱・水資源を全回収し再利用できます。



どのくらい省エネができるか、ぜひお確かめください。

メリットを
試算します



株式会社 ティエルビ
本社・工場/〒675-8511 兵庫県加古川市野口町辰砂881番地
TEL.(079)422-8833 [技術110番] <https://www.tlv.com>



- ▶ 左ページは、機器・装置・サービス等の概要、特徴、用途、実施例などの解説を掲載します。文字数は**2,000字程度**(26字詰×41行×2段組み)です。写真・図表等が入る場合は、そのスペース分を減らした文章を作成してください。
- ▶ 製品解説のレイアウトは、編集部が行います。原稿の段階でレイアウトを作成いただく必要はありません。
- ▶ 記事中に挿入する画像データは別途ご用意ください(300dpi以上)。ワードに貼り付けた画像は保存の際に圧縮されるため印刷時に鮮明に表示されない場合があります。

- ▶ 右ページは、広告を掲載。電子データをご用意ください。
- ▶ 広告ページは**スミ1色か2色(スミと金アカ※)**の印刷です。※金アカは特色版です。
- ▶ 「広告原稿制作上のご注意」をご参照ください。